

重症心身障害児・者のための地域生活支援者交流会
堺ミーティングだより



風 さかいの
ふうしゃ 車

発行 2016年5月13日 (第2号)

事務局／堺市立重症心身障害者(児)支援センター ベルデ地域支援センター

〒590-0808 堺市堺区旭ヶ丘中町4-3-1 堺市立健康福祉プラザ2階

電話 072-275-8510 (担当:相談支援室 長野雅聡)

メール masatoshi.nagano@misasakai.or.jp

ごあいさつ

堺市立重症心身障害者(児)支援センター
ベルデさかい 児玉和夫センター長

5月3日熊本大震災の様子を見てきました。熊本市内には江津湖療育医療センターという重症心身障害児者の施設がありますが、入所の皆さんは幸い無事でした。地震で停電はあったのですが3時間で復旧、しかし水道の方は1週間くらいかかっています。多くの地域から救援物資が届いていましたが、問題は熊本市内の地域の皆さんです。たくさんの情報が行き交い、円滑な支援ができていたかどうか心配でした。重い障害者の皆さんには救援物資が届くというだけでは不十分です。快適な環境設定、健康維持のための診察や看護、専門的な介護、リハビリテーションなどを総合的に提供できることが望まれます。災害が起きても、こうした支援をすぐに組織し、提供できるようにするためには日頃の連携と準備が必要でしょう。関係する人たちの支援スキルの向上も大事でしょう。

堺ミーティングがこうした連携、準備、スキルの向上につながっていくことを望み、期待します。

■ 堺ミーティングの報告 ■

堺ミーティングは、ニュース巻末のように盛会の内に開催されました。

第3回(11/27)では、作業療法士の松本茂樹さんから「豊かな暮らしの活動支援ーリハビリの多彩な役目ー」のテーマで、暮らしを豊かにするリハビリを紹介しながら、感じることと動くこととの深い関係とその支援の意義について話が進み、合間では爆笑の中の楽しい実習を通じて、いつの間にか参加者は暮らし中の支援の大切さに引き込まれていました。



第4回(1/8)は、言語聴覚士の松浦雄史さんが「楽しい食事時間の支援ー食事介助と食形態ー」をテーマに、①食べ方の見方、②飲み込み

の見方、③食事介助のポイントについて、実際に食べてみる実習を通じて、今回も楽しい解説がされ、毎日の食事支援の大切さに気づかされました。最後には、管理栄養士の瀬戸さんからの重症児・者の調理方法のコツも紹介され、会場からたくさんの質問も出されました。



第5回（3/11）は、ベルデさかいも地域もお手伝いされている、この道の大ベテラン看護師の石崎文さんに、「いのちを紡ぐケアの支援－はじめての医療的ケア－」をテーマにして、重症児・者の健康管理から医療的ケアまで、医療職だけでなく地域支援者みんなが知っておくと便利な情報共有策の提案を、実践を通じて心優しく寄り添う大切な配慮と共にわかりやすく解説されました。



参加できなかった方で、当日の研修資料をご希望の方は、ベルデさかいはの堺ミーティング事務局までご連絡頂ければ、資料ファイルを添付できるメールアドレスにお送りさせていただきます。今回までのシリーズは、あくまでベルデさかいからの発信として、みなさんにまずお伝えたいこととお話させて頂いた研修会の色が強かった会でしたが、次年度からはみなさんからの

発信を期待しての、それぞれの施設紹介をして頂く地域支援者からの現場発信のシリーズに入りたいと思います。

またその合間を縫って、重症児・者の方々への支援に特化した介護講習会（6/19）や、地域で使える楽しい生活器具の作製講習会

（10/16）の開催や、講師をお招きしての講演なども予定したいと考えています。

堺ミーティングは、堺市周辺の重症心身障害児・者の方々を支援されるみなさんの声を取り上げながら、一緒に育ててもらえたらと願っていますので、ご意見やご提案など、どしどしお寄せ下さい。また会の今後の運営にもどうぞご参加下さい。

第5回 参加者内訳

参加施設	人数
生活介護	35
入所施設	35
訪問看護	5
支援学校	1
障害児通園	9
当事者家族	2
堺市	2
業者	1
学生	1

計 91



■ 今後のミーティングのお知らせ ■

4月から始まる平成28年度からは、堺市を中心とした地域支援者の方々の現場の実践の声を聞き、共に考える会としたいと思います。今後、参加されている施設様へ依頼をさせて頂こうと思いますので、どうぞご支援、ご協力をお願いします。

第6回（5/13）は、訪問看護・リハビリ事業所からの報告、そして多くの当事者ご家族や

法人が今目指されているグループホームを運営されている施設からの報告をお願いします。

■ 堺ミーティングへのお問合せ ■

堺ミーティングへの参加を希望される方は、当日配布資料の印刷部数の目安を把握したいので、できれば事前にメールにて施設ごとのだいたいの人数でご一報頂けると、準備が助かります。ご協力をお願いします。ご連絡は、以下のベルデ地域支援センター担当者まで、お電話かメールにてご一報下さい。また、堺ミーティングのこれからの企画・運営へのお手伝いを頂ける方や事業所がありましたら、ご連絡をお待ちしています。

※ 右のQRコードをスマホの読み取りソフトで撮って頂くと、メールアドレスが自動で入力されます。



【お問合せ先】

担当：ベルデさかい相談支援専門員 ながの まさとし
長野 雅 聡
電話：072-275-8510（代表）
メール：masatoshi.nagano@misasakai.or.jp

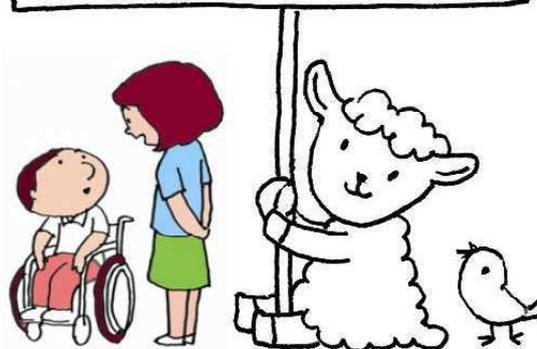
■ ベルデ地域支援センターから ■

従来のベルデさかい相談支援室は、本年度より名称が「ベルデ地域支援センター」となります。堺市周辺の重症心身障害児・者の方々を支援されている法人や事業所の日々の介護・食事などの姿勢設定や調理、医療的ケア、当事者様や職員の方への健康相談、各種の楽しいイベント企画などへの具体的なご相談、またご家族からの地域生活に関する各種のご相談、地域支援サービスの紹介などについても、職員を派遣させて頂き、ご相談に応じます。お気軽にご連絡下さい。

お問合せ窓口は、堺ミーティング参加への連絡先と同じです。

職員派遣の例

- PT・OT・ST・臨床発達心理士
- 看護師・薬剤師
- 生活支援員・管理栄養士
- 相談支援専門員
- 車椅子他製作へのご相談



新入職者向け介護講習会のご案内

日時：平成28年6月19日（日）
午前9時30分（受付）～午後5時
会場：堺市健康福祉プラザ3階大研修室
対象：地域支援多職種者、ご家族ほか
定員：50名（申込者多数の場合は選考）
参加費：500円（含資料・実習費）
主催：ベルデ地域支援センター
講師：ベルデさかい 多職種職員

堺市で重症心身障害児・者の方々の生活介護や居宅支援などをされている事業所の職員の方々を対象に、ベルデさかいの実践を通じた介護や食事介助、移乗、姿勢や健康管理、行事などの暮らしの場面ごと紹介や提案と実習を、皆さんと一緒に考えながら楽しく行います。奮ってご参加下さい。

堺ミーティング カレンダー

	日時	テーマ	担当	内容
平成27年	7月20日 (祝)	「ベルデさかいの役割とこれから」	児玉センター長 ベルデさかい各 部署	ベルデさかいの役割についての講演と各部署からの 事業紹介。
	9月11日 (金) 19-20:30	いのちの入れ物「体」への支援 (身体介助の基本)	ベルデさかい 岸本PT	重い・大きい・固い・細い・痛い・歪み・緊張の問題を整理して障害を理解でき、対応の方針を立てることができるように、事例を通じて解説する。
	11月27日 (金) 19-20:30	豊かな暮らしの活動支援 (リハビリの多彩な役目)	ベルデさかい 松本OT	南大阪療育園やベルデや地域支援の場でのアイデアを通じて、暮らしの楽しさを提供できる活動場面や姿勢の工夫について、事例やヒントを紹介し、実習する。
平成28年	1月8日 (金) 19-20:30	楽しい食事時間の支援 (食事介助と食形態)	ベルデさかい 松浦ST	何ができなくても毎日続く食事の介助の大切さや豊かさを、姿勢/咀嚼/嚥下の介助方法や食形態の工夫を通じて紹介し、実習する。
	3月11日 (金) 19-20:30	いのちを紡ぐケアの支援 (はじめての医療的ケア)	ベルデさかい 石崎Ns	地域で暮らすために求められる暮らしの場での医療的ケアと、医療的ケアになるまでの予防や工夫についての入門編を鼎談しつつ、解説する。
	5月13日 (金) 19-20:30	施設・事業紹介 ①訪問看護/リハビリ ②グループホーム	①幸川Ns ②志堂寺	①大阪南リハビリ訪問看護ステーション ②障友会グループホーム「あいあい」
講習会	6月19日 (日) 10-17:00	新入職向け介護講習会 (いつでもどこでも誰でも)	ベルデさかい 多職種職員	地域生活での暮らしを支える更衣・食事・排泄・入浴・レクリエーション・生活リハビリなど、多様な暮らしを支える支援技術を研修する介護講習会です。
	7月8日 (金) 19-20:30	施設・事業紹介 生活介護事業所(医療的ケア)		①アシストデイ・アシストナイト(ナイトケア) ②えーゆーハウス(医療的ケア)
	9月9日 (金) 19-20:30	施設・事業紹介(予定) ①支援学校 ②施設入所支援・生活介護		①大阪府立堺支援学校 ②ピュアあすなろ
講習会	10月16日 (日) 10-17:00	暮らしに役立つ生活器具 製作講習会 (その手があったか！これが欲しかった)	ベルデさかい リハビリ部	日常にあればなあと思うちょっとした器具の工夫から姿勢の工夫にいたるまでのアイデア満載の器具を、自分の手で作るワークショップです。